

屋中だより

～ 屋中は今～

平成30年 1月12日 No. 22

千曲市立 屋代中学校

学校長 塩野入幸隆

(文責) 生徒指導係 中谷 憲朗

<http://www.chikuma-ngn.ed.jp/~yashirojh/>

*「屋中だより」は、屋代中学校ホームページでご覧いただけます。(千曲市教育委員会⇒小中学校一覧⇒屋代中学校)

3学期のスタート！ ～2018年はどんな年に！？～

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。

今週から、いよいよ「46日間」の3学期がスタートしました。この3学期は“今年度のまとめ”と同時に、1年生は“先輩”になるための準備、2年生は“屋中の顔”になるための準備、そして3年生は“進路実現”に向けたラストスパートを課題にしなが生活することになります。それぞれの課題を乗り越えた先に…また一つ成長できた自分と出会うことになるのでしょうか。果たして、2018年は皆さんにとってどんな年になるでしょうか。

それでは、ここで3学期始業式での校長講話を紹介します。



皆さん、おはようございます。そして、新年あけましておめでとうございます。

今は各学年代表の生徒の皆さんから、新年あるいは3学期の目標を力強く発表してくれました。それぞれの学年を意識した決意表明だったと思います。(略)しっかりと目標を設定することが、実現の第一歩です。聞いていた皆さんも、三人に負けないように頑張りましょう。

さて、この休み中も、部活動に、生徒会に、学習に、屋代中の皆さんの張り切っている姿を見たり聞いたりすることが出来ました。三年生は進路に向けてラストスパートがかかっています。

まず、1・2年生中心の部活動ですが、年末もしっかり鍛えて力を高めようとする姿が見られました。また、どの部も使用した場所の片付けや整理整頓をして新年を迎えました。そして新年になって、雪かきをしてから練習に取り組みました。おかげで、全員が気持ちよく登校することができました。(略)

生徒会については、1月6日に新役員が集まり、新しい生徒会は何を目指すのか話し合い、新しい体制が立ち上がってきています。ぜひ伝統の屋中生徒会に、新しい風を吹かせて欲しいと思います。

学習では、特に3年生ですが、図書館や情報館などで個人的に学習に取り組んでいる生徒や、個人であるいは仲間と今まで苦手としていたところを一生懸命勉強しているという話も聞いています。勉強帰りに私とすれ違うと会釈をするなどさわやかな姿も見られました。何事にも全力を尽くす屋中生らしい姿が見られ、良い冬休みだったのだなあと思いました。

新しい年を迎えた皆さんに、ある本を紹介します。それは吉野源三郎さんの「君たちはどう生きるか」という本です。実はこの本は、現在漫画としても出版されています。

皆さんが知っているように、大昔は地球が宇宙の中心で太陽や月や様々な星は地球の周りをまわっている天動説が唱えられていました。ところがコペルニクスはどうしてもこれでは説明がつかないと、太陽の周りを地球や火星などが回っているという地動説を唱えたのです。この二つの考え方は、人の生き方や考え方にもつながっているというのです。子どものうちは自分中心の考え方の天動説ですが、大人になるにつれて地動説になり、広い世界を先に考えるようになるというのです。

しかし、大人になっても、自分中心に物事を考えたり判断したりすることはまだまだ残っていて、特に損得に関わることになると自分を離れて判断することは難しい傾向にあるというのです。地球は宇宙の中心だと考えていた時には、人間は宇宙全体の本当のことが分からなかったのと同じように、人間も自分だけよければという自分中心の考えをしていると、世の中の本当のことが見えなくなってしまうと記されています。

どうか屋代中学校の生徒の皆さんも、自分さえよければとかではなく、たえずクラス全体や学校全体等を考えて行動する一年にしませんか。自分



○吉野 源三郎 著
○マガジンハウス 発行

